



田島小だより

No. 6

<本校の教育目標>

「心身ともに健康で、確かな学力を持ち、
人間性豊かな児童の育成」



「モデリング」!

休日朝早く大リーグの試合を観るために起きるという人が、増えているとも聞きます。それくらい注目を集めているのが「大谷翔平」選手ですね。(本年度の重点であるキャリア教育の際にも登場してもらっている大谷選手です。)大人もそのような状態であれば、特にソフトや野球に取り組んでいる子供のあこがれは、もっとすごいと思います。



少し前だと、イチロー選手にあこがれ、イチロー選手の真似をしている子供が多く見られました。子供たちは気になる対象の真似(モデリング)をして学んでいることがあります。

これは、プラス面のモデリングですが、マイナス面のモデリングもあります。ある実験においては攻撃的な様子を見続けた子供は、攻撃的な言動をとることが多い結果となりました。暴力的なテレビやゲームで子供たちが攻撃的になることも、この一例かと考えます。つまり、子供の成長にはモデルとなる環境が非常に重要だということです。

また、子供たちは、意識してモデリングするのではなく、気になる対象(または、常に接している対象)を無意識にモデリングしています。そのため、私たち大人は、子供たちはモデリングしているかもしれないと考え、環境を整えていくことが大切です。

子供たちにとって身近な存在である学校では、マイナス面のモデリングではなく、プラス面のモデリングとなるよう努めています。

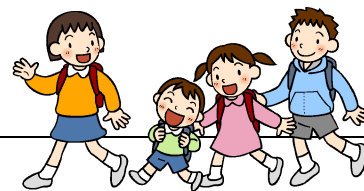
例えば、

- 言語環境を整え、適切な言葉遣いができるようにする。
- 教師が進んで学ぶ姿(研修への参加)を示すことで、主体的に学習に取り組めるようにする。 など…。

各家庭にあっては、「子供たちは私たちがモデリングしてる」と意識して行動し、そのモデリングの成果が子供たちの成長としてに見えてきた時、子育ての楽しさが味わえるのではないのでしょうか。



「お知らせコーナー」から



帰りの会を各クラスで実施後、学校の玄関先で集まり、再度実施する必要はあるのでしょうか。時間がかかり、子供たちの負担になるのではないのでしょうか。

ご指摘ありがとうございます。全国的に不審者等の事案が多く見られ、下校時の子供たちの安全確保のために始めた経緯があります。同じ方面へ帰る子供たちを、できるだけ一緒にし、一人になる時間を少なくするために実施しています。しかし、玄関先で挨拶した後は、集団ではなく下校するようになってるとの指摘もあります。まずは、「安全安心」をもとに、そして子供たちの負担も考慮し、検討していきます。

PTA地区委員長をしています。民生委員宅へおたよりを依頼されましたが、探すのに時間がかかりました。学校から郵送していただくか、地図をつけるなどしていただければと思います。

地区委員長は、PTAの委員会として組織されています。そして子供たちがその地区内で安心安全に過ごすことができるよう、地区委員長さんが中心となり地区の民生委員の方々につながることが大切であると考え、現在まで取り組んできたものと考えます。「子供のため」というねらいをご理解いただき、ご協力をお願いします。それでも難しい場合は、PTAの組織ですので、地区委員長会または実行委員会等でご協議いただきたいと考えます。

手作り弁当の日もいいですが、遠足先での外食も子供たちの勉強として、みんなで現地の物を食べる機会を作ってください。



友達と一緒に食べる食事はとてもおいしく、そして思い出に残ります。思い出に残る機会は設けていきたいと考えています。ただ、昨今の食に関する課題にあげられるのは「食物アレルギー」です。命にも関わることで、十分に配慮していかなければなりません。自分の力でアレルゲンを排除できるようになることも大切ですが、その力は低・中学年では難しいと考えています。このことから、遠足などでの「おやつの交換」もしないようにしています。修学旅行においては、自分で食べないようする機会やアレルギー対応食を提供する場所を友達と一緒に見つける活動などを設けています。「生きる力」を育てながらも、食を通して思い出を作る活動を、試行していきたいと思えます。

食に関する内容で7月29日(土) 郡PTA研究大会が御蔵入交流館を会場に開催されます。講師として「弁当の日」提唱者である竹下和男氏を迎え講演会も実施されます。講演会のみでも参加可能です。まだ、大丈夫ですので、担任を通じ、お申し込みください。

----- 切り取り線 -----

お知らせコーナー

※ 学校の教育活動等にご意見ご感想がありましたら、
ご記入いただき、お知らせください。 (校長)

()年 保護者氏名(児童名)

()